

事業番号	15 05 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）		■当初要求	□当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	特別支援教育推進事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	特別支援教育課		
		実施期間	S54 ~	E-mail	tokubetsu-shien@pref.nagano.lg.jp		
次期総合5か年計画（答申書）との対応関係							
政策の柱	誰にでも居場所と出番がある社会をつくる			誰もが主体的に学び続けられる社会をつくる			

1 現状と課題

・発達障がい等の診断等がある児童生徒数は増加（義務教育段階での割合 H30:4.85%→R3:6.12%）しており、特別支援教育の必要性が高まるとともに、多様化するニーズに応じるため適切な学びの場の整備・提供が必要である。

・行動面に困難のある児童生徒数が増加しており、対応が困難な事例も増加している。

・卒業後の多様な自立につなげるため、将来につながる実習先の開拓や障がい者雇用に係る企業の理解促進が必要である。

2 事業目的

児童生徒一人ひとりの必要性に応じた適切な学びの場の確保や将来の自立につながる支援を充実させ、すべての児童生徒が主体的に取り組むことのできる教育環境を整備する。

3 事業目的を達成するための取組

- ①児童生徒一人ひとりのニーズに応じた適切な学びの場を提供するため体制を整備**
- ・通級による指導のニーズに対応するため、LD等通級指導教室等の適切な配置を行う。
 - ・高等学校における発達障がい等による学習上又は生活上の困難の改善・克服のため、合理的配慮の提供を推進する。
- ②行動面に困難のある児童生徒への行動支援を充実するための取組を充実**
- ・支援が広く行き届く仕組みを構築するため、エビデンスに基づく様々な行動支援の全体的な展開を図る。
 - ・外部専門家と連携し、困難事例に対して専門性のある支援を行う。また、事例について蓄積・共有・活用を行う。
- ③一般企業等への就労を希望する生徒の進路実現**
- ・一般企業等への就労を希望する生徒の進路実現に向け、企業が参加する学校見学の実施や、就労コーディネーターによるマッチング支援を進め、企業側の障がい者の理解や受入れに係る取組を促進する。

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度	R3年度	R4年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	見込値			
①-1	小学校における通級指導教室を利用している児童の割合	%	0.73	0.76	↗	1.00	↗		目標値は現在策定中。第3次長野県特別支援教育推進計画策定に合わせ1月までに設定予定。
①-2	高等学校における個別の指導計画の作成を必要とする生徒のうち作成している生徒の割合	%	47.9	34.9	↘	50.0	↗		目標値は現在策定中。第3次長野県特別支援教育推進計画策定に合わせ1月までに設定予定。
②	行動支援に関する指標を設定予定								
③	特別支援学校高等部卒業生の企業就労率	%	21.7	29.4	↗	33.6	↗		目標値は現在策定中。第4次長野県特別支援教育推進計画策定に合わせ1月までに設定予定。

5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算	合計	うち一般財源		
R5年度	(予算案)				0		7.1
	(要求)		239,752		239,752	184,430	
R4年度	0	211,736	0	211,736	166,132	7.1	
R3年度	0	202,742	0	202,742	161,502	142,377	7.1

事業名	特別支援教育推進事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	特別支援教育課
-----	--------------------	----	----------	-----	---------

細事業 No.	細事業名	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
1	特別支援教育推進指導事業	50,049 千円	48,801 千円	(予算案) (要求) 62,400 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	発達障がい児等総合支援事業	直接	インクルーシブ教育推進リーダー養成事業、出前研修、LD等通級指導教室担当者専門性向上研修事業、特別支援教育コーディネーター研修事業 LD等通級指導教室担当者専門性向上研修の延べ対象者数 206名	
2	特別支援学校センター的機能充実事業	直接	自立活動担当教員による地域の小中学校の特別支援学級等への巡回相談支援、外部専門家（OT,PT,ST）や芸術家、スポーツ選手等を特別支援学校に派遣 外部専門家を活用した指導の実施回数 140回	
3	特別支援教育充実事業	直接	自立介護支援員の配置、LD等通級指導教室担当教員の増員、長野県特別支援教育連携協議会の開催、副学籍コーディネーターの配置、特別支援学校の専門性向上事業の実施、「学びの改革」フロンティアスピリッツ事業の実施、認知・発達の特性に応じた学びの保障、地域連携コーディネーターの配置、行動面に困難のある児童生徒への支援 行動支援対応リーダーによる相談支援回数 325回	

細事業 No.	細事業名	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
2	就学指導事業	38,893 千円	35,879 千円	(予算案) (要求) 36,380 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	就学相談体制整備事業	直接	特別支援教育推進員の配置、長野県教育支援委員会の開催 長野県教育委員会開催回数 2回	
2	交流教育推進事業費	直接	交流教育提携校との交流、提携校以外の相手先との交流 交流教育提携校数 97校	
3	特別支援学校就労支援総合事業	直接	技能検定の実施校拡大、就労コーディネーターの配置、産業現場等における実習の実施 技能検定の実施校 21校	

細事業 No.	細事業名	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
3	就学奨励事業	113,800 千円	127,056 千円	(予算案) (要求) 140,972 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	医療的ケア体制整備事業	直接	学校看護師の配置、医療的ケア研修、医療的ケア運営協議会の開催、医療的ケア指導医派遣研修の実施 特別支援学校医療的ケア研修開催数 19回	